

水は賢く大切に使う時代が来た！

愛知県の新たな水需要のプラン

「清流長良川流域の生き物・生活・産業」連続講座 Vol.4

主催：愛知県長良川河口堰最適運用検討委員会



長良川河口堰の水は16%しか使われていない。

節水対策での最優先事項は、人の生命と健康であるべき！

2017年5月28日(Sun)

会場:愛知大学名古屋キャンパス
講義棟7F L705 (公共交通機関をご利用下さい。)

13:00開場
13:30開演

参加無料

第1部 私たちは長良川をどう使ってきたのか 水の賢い使い方(Wise Use) 13:30~15:20

- 富樫幸一 (岐阜大学地域科学部教授)
「愛知県民 (名古屋市も含む) の市民生活と水道水、長良川河口堰の役割」
- 豊貞佳奈子 (福岡女子大学国際文理学部環境科学科准教授)

「水まわり住宅設備の節水化と水使用量変化」

- 蔵治光一郎 (東京大学大学院農学生命科学研究科教授)
「渇水と付き合い知恵 (取水制限という知恵)」

第2部 パネルディスカッション 15:30~16:30

コーディネーター：小島敏郎 (元青山学院大学教授)

パネラー：富樫幸一
豊貞佳奈子
蔵治光一郎

総合司会 原田さとみ (エシカル・ペネロープ(株)代表)

How to
use water
wisely?

連絡先：愛知県振興部土地水資源課 TEL 052-954-6121

愛知県の新たな水需要のプラン

水は限りある資源

水資源開発と渇水対策に向けて新たな発想を

「清流長良川流域の生き物・生活・産業」連続講座 Vol. 4

2017年5月28日 (Sun)

会場: 愛知大学名古屋キャンパス 講義棟7F L705

第一部 講演者

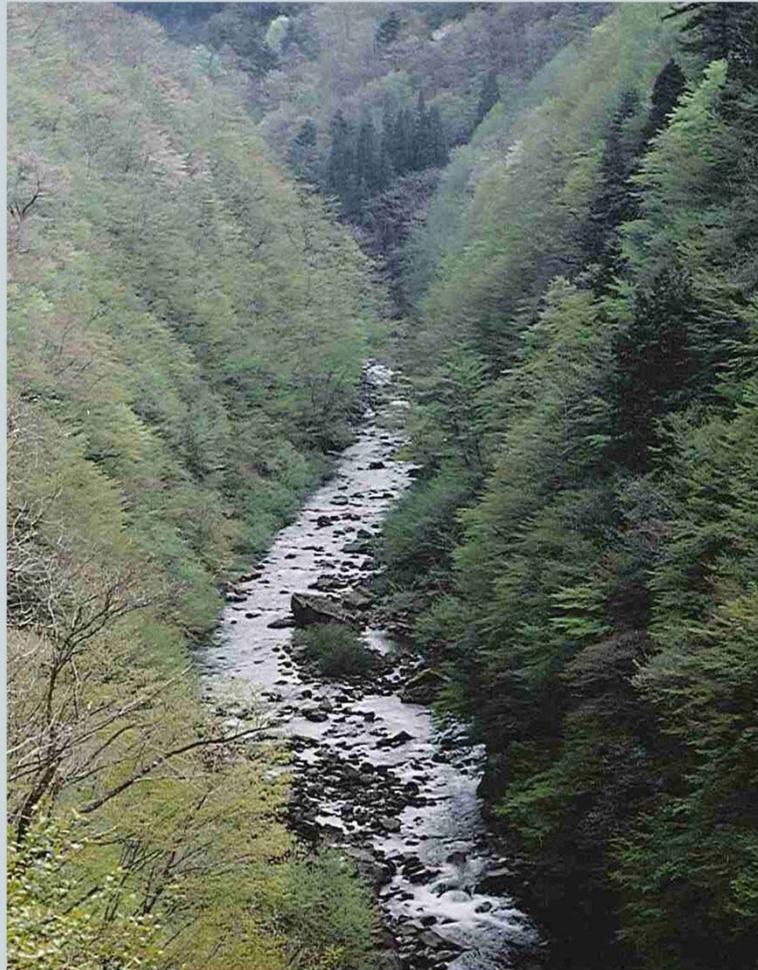


富樫幸一(とがし こういち)岐阜大学地域科学部教授。1988年の河口堰本体着工以降、工業用水や水道用水の計画と実績を分析しており、新しいフルプランに向けた見直しを行っている。著書に『水資源政策の失敗-長良川河口堰』など。

豊貞佳奈子(とよさだ かなこ)福岡女子大学国際文理学部環境科学科准教授。1994年東陶機器(株)(現 TOTO(株))入社後、2014年にESG推進部研究担当部長に就任。2015年より現職。北九州市環境影響評価審査会委員、福岡県エコ賃貸住宅促進検討会委員等も務める。共編著書に『地球とつながる暮らしのデザイン』



蔵治光一郎(くらじ こういちろう)東京大学大学院農学生命科学研究科教授。2003~16年に愛知県瀬戸市の附属演習林生態水文学研究所に勤務。著書に『緑のダムの科学-減災・森林・水循環-』『森の「恵み」は幻想か-科学者が考える森と水との関係』など。



長良川の源流、節谷(せつたに)溪谷の新緑
写真: 磯貝政司

第二部 パネルコーディネーター

小島敏郎(こじま としろう):元青山学院大学国際政治経済学部教授/愛知県政策顧問・名古屋市経営アドバイザー・渋谷区環境基本計画改定委員会委員。東京大学法学部卒業後、環境庁入庁。環境基本法を始め、主要な法律の制定業務を担当し、2005年から地球環境審議官に就任。気候変動枠組条約などに取り組み、2008年退官。



総合司会

原田さとみ(はらだ さとみ):エシカル・ペネロープ(株)代表/NPO法人フェアトレード名古屋ネットワーク代表。環境・人・社会に配慮した持続可能なフェアトレードとエシカルの普及を通じて、国際協力・地域貢献を展開。2015年、名古屋市をフェアトレードタウン認定都市とする。



愛知大学 名古屋キャンパス

あおなみ線のささしまライブ駅で下車、東へ徒歩約4分

memo